

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第87回）に係る面談

2. 日時：令和3年1月14日（木）13時30分～16時00分

3. 場所：原子力規制庁18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

長官官房 金子審議官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、林田管理官補佐、田上係長、久川係員

福島第一原子力規制事務所

小林所長、坂本検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

本社7名、福島第一原子力発電所7名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第87回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

- 2号機燃料取り出し工法の検討状況について
- スラリー安定化処理に向けた検討状況について
- ゼオライト土嚢等処理の検討状況について
- 地震・津波対策の進捗状況について
- 建屋滞留水処理等の進捗状況について
- 3号機燃料取り出しの状況について

○原子力規制庁は上記内容を確認するとともに、以下のとおりコメントを行った。また、次回検討会において、中期的リスクの低減目標マップに掲げている主要な目標の進捗状況を報告するよう求めた。

【2号機燃料取り出し工法の検討状況について】

- 燃料の取出し作業については、機器の調達を含め、複数の専門部署が関係することになると思われるが、取出し作業に係る社内での体制に関して説明を追加すること。
- 取り出した燃料の輸送に用いるキャスクの仕様について説明を追加すること。
- 取扱設備の設置に係るスケジュールについて、現地における機器の検品や検査に係る作業等も含め、どの時点でどのような作業を行う予定か具体的な工程を追加すること。

【スラリー安定化処理に向けた検討状況について】

- スラリーの安定化処理を行う設備の基本設計については、ダストの飛散対策や閉

じ込め・遮へい設計等、安全設計全般の説明を追加すること。

- 安定化処理による減容率について説明を追加すること。
- 1日あたりの処理量について説明を追加すること。

【ゼオライト土嚢等処理の検討状況について】

- ゼオライト土嚢等の回収・取出し方法の検討にあたっては、各方法においてトラブルが発生した場合の対応可能性や回収作業に伴う廃棄物の総発生量についても考慮すること。

○東京電力から、コメントについて検討の上、検討会に向けて対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。

6. 資料

- 2号機燃料取り出し工法の検討状況について（案）
- スラリー安定化処理に向けた検討状況（案）
- ゼオライト土嚢等処理の検討状況について（案）
- 地震・津波対策の進捗状況（案）
- 建屋滞留水処理等の進捗状況について（案）
- 3号機燃料取り出しの状況（案）
- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2020年3月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）